地域連携室（患者様相談窓口）

地域連携室では、看護師、保健師、社会福祉士などを配置しており、各職種が連携しながら入退院調整や当院を利用される皆様・地域の方々から療養生活上の様々なご相談に応じております。また、当院への入院相談は地域連携室でお受けいたします。
詳細につきましては地域連携室までお問い合わせ下さい。

地域連携室直通　011-685-2211
直　通FAX　011-685-2302

交通のご案内

ＪＲ函館本線　稲積公園駅下車　徒歩８分

ＪＲバス　地下鉄東西線　宮の沢より
「宮 49-1・宮 79-1」ていねプール前　下車
「宮 49・宮 79」稲積公園前　下車

ＪＲ函館線　手稲駅北口より
「宮 49-1」ていねプール前　下車
「宮 49・宮 49-1」稲積公園前　下車

〒006-0813 札幌市手稲区前田3条4丁目2-6
TEL.011-685-2200
FAX.011-685-2244
http://inazumi.aldebaran.or.jp

関連機関

さっぽろ二十四軒病院

●院　　長: 三好　茂樹

●診 療 科 目: 内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、リハビリテーション科

●診 療 時 間:
平　　日　９：００～１２：００
１３：００～１７：００

土　曜　日　９：００～１２：００

●許可病床数: 一般病床４４床（障害者施設等入院基本料）
血液透析１８床

〒063-0802 札幌市西区二十四軒2条4丁目7-20
TEL.011-641-2281
FAX.011-613-7811
http://sapporo24.aldebaran.or.jp

社会医療法人 アルデバラン 手稲いなづみ病院

手稲いなづみ病院は、手厚い医療・看護介入が不可欠で、急性期から慢性期への移行が困難な医療依存度の高い重度の障害者や重度意識障害などの患者さまを積極的に受け入れる機能に特化した病棟運営を行なっています。特に人工呼吸器から離脱できない患者さまや血液透析を必要とする重症度の高い患者さまの入院にも対応しております。

外来診療は、一般内科診療の他に専門外来を実施、また、地域の皆様へ利便性の高い診療を提供できるよう、取り組んでまいります。

“アルデバランから新しい医療の風を”

基本理念　急性期から慢性期医療への橋渡し的存在となる医療機関を目指します。
医療依存度の高い患者様の期待に応えうる医療を提供します。
小規模多機能な内科単科病院として進歩していきます。

基本方針（6S）

- Smile　アルデバランのように暖かい心、笑顔で接します。
- Service　医療従事者として常に奉仕の精神を持ち続けます。
- Safety　医療事故撲滅のため医療安全に積極的に取り組みます。
- Standard　原点に立ち返り、アルデバランならではの診療体制を構築します。
- Speciality　アルデバランならではの小規模多機能でありながらも専門性を高めます。
- Stepup　次世代へ繋ぐ医療を展開します。アルデバランから新しい風を起こし医療制度改革を進めます。

病院の概要

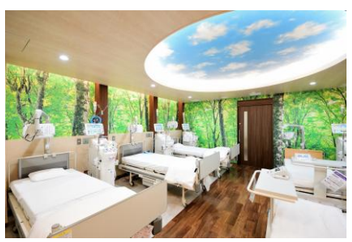
●所　在　地　：〒006-0813　札幌市手稲区前田３条４丁目２番６号
電 話（０１１）６８５－２２００　ＦＡＸ（０１１）６８５－２２４４
ＵＲＬ http:/i nazumi.aldebaran.or.jp

●理 事 長　齊藤　晋
院　　長　猪股　慎一郎

●診 療 科 目：内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科
リウマチ科、リハビリテーション科、

●診 療 時 間：平　　日　９：００～１２：００　１３：００～１７：００
土　曜　日　９：００～１２：００

●許 可 病 床 数：一般病床１０９床（障害者施設等 10：１入院基本料）血液透析３０床



病棟機能

当院は厚生労働大臣が定める「障害者施設等入院基本料」の承認を受けております。病棟機能としては、急性期・亜急性期・教育等の入院はもちろんのこと、特に急性期から慢性期への移行が困難な医療依存度の高い重度障害者や重度意識障害者に対応する機能を持つ一般病床です。

【個室】

【４床室】

【　施　設　基　準　】

■基本診療料の施設基準
障害者施設等入院基本料（10:1）
診療録管理体制加算３
特殊疾患入院施設管理加算
看護補助加算・夜間看護体制加算
療養環境加算
入退院支援加算２
データ提出加算１
医療 DX 推進体制整備加算

■特掲診療料の施設基準
ニコチン依存症管理料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料１
検体検査管理加算Ⅱ
時間内歩行試験
コンピューター断層撮影（CT 撮影）
無菌製剤処理料
がん性疼痛緩和指導管理料
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）初期加算・急性期加算
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算・急性期加算
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算・急性期加算
人工腎臓（慢性維持透析Ⅰ）
人工腎臓の導入期加１
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
下肢末梢動脈疾患指導管理加算
導入期加算及び腎代替療法実績加算Ⅰ
胃瘻造設術
胃瘻造設時嚥下機能評価加算
輸血管理料Ⅱ
外来在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
入院ベースアップ評価料

■入院時食事療養の施設基準
入院時食事療養（Ⅰ）

透析センター

当センター（オンラインＨＤＦ対応・３０床）では２部体制により血液透析を行なっております。安全で快適に透析医療を受けて頂けるよう取り組んでおり、外来透析はもちろん、人工呼吸器装着や重症度の高い患者さまの透析にも対応致します。また、外来透析患者さまには、ご希望によりお食事の提供（有料）や無料送迎サービスを実施しております。

	月	火	水	木	金	土
Ⅰ部	○	○	○	○	○	○
Ⅱ部	○	○	○	○	○	○

ご相談は当センター若しくは地域連携室までお問い合わせ下さい

リハビリテーション

医師、看護師、ＭＳＷ等と連携をとりながら入院患者さまを中心に、今後の療養先を見据えたリハビリテーションを実施しています。

【施設基準】脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）

【職員体制】理学療法士　４名
作業療法士　１名
言語聴覚士　１名

主な検査・医療機器

■画像診断装置：ＣＴは 80 列のマルチスライスヘリカルＣＴを採用しています。薄いスライスで精密に、速く、きれいに撮影することができ、全ての患者さまの検査の負担を軽減できるよう配慮されています。

■エコー（超音波検査）：
心臓、血管、腹部、甲状腺など広い範囲の検査を行っており例えば頸動脈エコーでは壁の厚みやプラークの有無を観察することで簡便に動脈硬化の評価を行うことができます。異なった特長を持った装置によるこれらの画像検査を組み合わせることにより診断能力をより向上させています。

■内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）：ハイビジョン内視鏡システムを導入し、経鼻内視鏡を含めた上下部の内視鏡検査を行っています。日本消化器内視鏡学会の専門医をはじめとする経験豊富なスタッフが検査にあたり、正確かつ安全な検査に務めております。また、大腸ポリープ切除や経皮内視鏡的胃ろう造設（ＰＥＧ）を積極的に行っています。

■動脈硬化度検査（CAVI・ABI）：痛みを伴うことなく簡単に動脈の硬さやつまり具合を調べます。数値を解析することで血管年齢もわかります。また頸動脈エコー検査と組み合わせることでより詳細な動脈硬化度を調べることができます。

■肺機能検査：息切れ、咳や痰が持続するなど、肺の病気が考えられる時に行ないます。当院では患者様の検査による負担を最小限度に抑えるため、モストグラフ（総合呼吸抵抗測定装置）を導入しております。

■呼気一酸化炭素濃度検査：禁煙外来受診の際に毎回測定します。禁煙を持続するにつれ、数値が下がってきます。ヘビースモーカーは２５ppm 以上、ノンスモーカーは０～５ppm です。（ちなみに大気汚染の上限値は１０ppm です）